



氏名	松崎 敦子 (Atsuko Matsuzaki)
職位	准教授
専門分野	小児看護学 発達心理学 応用行動分析学
担当授業科目	成育看護学特論 特定実践看護学演習ⅠA・ⅠB・Ⅱ 特別研究Ⅰ・特別研究Ⅱ
教員から一言	修士課程入学時にある教授から「あなた方は知の消費者から知の生産者になるのです」と言われたことが今でも強く心に残っています。知の生産者になるべく学生の皆様と切磋琢磨し合える仲間になれたら嬉しいです。共に頑張りましょう。
学歴	慶應義塾看護短期大学卒業 California State University, Northridge 卒業 慶應義塾大学社会学研究科心理学専攻修士課程修了 慶應義塾大学社会学研究科心理学専攻博士課程取得後退学
学位	博士 (心理学)
主な職歴	慶應義塾大学病院 慶應義塾大学先導研究センター 三育学院大学看護学部
研究テーマ	発達障害、応用行動分析学に基づく発達支援、保護者支援、支援者支援
主要著書・論文	1. 原著論文 1. <u>松崎敦子</u> ・山本淳一 (2020). 児童発達支援事業所の職員を対象にしたオンライン研修プログラムの開発と評価. 三育学院大学紀要, 12(1), 1-8. 2. <u>松崎敦子</u> 、前田卿子、山本淳一 (2019). 自閉スペクトラム症幼児の保護者を対象にした「アプリを用いたペアレントトレーニング」の効果：地域型発達支援モデル. 日本小児心身医学会「子どもの心とからだ」, 28(1), 2-11. 3. <u>松崎敦子</u> ・山本淳一 (2015). 保育士の発達支援技術向上のための研修プログラムの開発と評価. 特殊教育学研究, 52 (5), 359-368. 4. 山本淳一・ <u>松崎敦子</u> (2014). 早期発達支援プログラムの開発研究. 臨床心理学, 14 (3), 361-366.

	<p>5. 山本淳一・松崎敦子 (2014). 応用行動分析学による包括的コミュニケーション発達支援プログラム：慶應早期発達支援プログラム（KEIP）の開発・適用・普及. <i>子どもの健康科学</i>, 14(1), 23-29.</p> <p>6. 松崎敦子・三宅聖子・山本淳一 (2013). 初期コミュニケーション発達の促進を目的とした「応用行動分析に基づく音楽療法プログラム」の効果. <i>日本音楽療法学会誌</i>, 13 (2), 103-113.</p> <p>7. <u>Matsuzaki, A.</u> & Yamamoto, J. (2012). The effects of early intervention program on preverbal communication in a child with autism: Developmental and behavioral analysis with the multiple-baseline design. <i>The Japanese Journal of Special Education</i>, 49(6), 657-669.</p> <p>II. 著書</p> <p>1. 山本淳一・松崎敦子 (2016). 早期発達支援プログラム 下山晴彦・村瀬嘉代子・森岡正芳（編）発達障害支援ハンドブック (pp. 81-87). 金剛出版.</p> <p>2. Yamamoto, J., & <u>Matsuzaki, A.</u> (2016). Effectiveness of a nursery school teacher training program in providing interventions and supports for children with developmental disorders. In Japanese Society of Developmental Psychology (Eds.), <i>Frontiers in Developmental Psychology Research</i> (pp.189-207). Hitsuji Shobo.</p>
<p>そ の 他</p>	